

今回は、地域や企業等と連携した本市の取組について紹介します。

未来を拓く「キャリア教育」

本市では、一人ひとりが自分のよさや可能性に気づき、自ら未来を切り拓いていくことができる子どもの育成を目指したキャリア教育を推進しています。



外部と連携した学びを行うことにより、多様な生き方や進路・職業等についての視野を広げたり、知的好奇心や学習意欲を高めたりすることができます。

職場体験



仕事や働く人々に直接触れる体験を通して、**自らの生き方**について考えたり、**社会へ貢献**していこうとする態度を身に付けたりします。

企業と連携した探究学習



企業と連携し、地域をよりよくすることを旨とする学習を通して、地域への愛着を深め、**主体的に課題を解決する力**を身に付けます。

産業系高校による出前授業



実際に働いている教員や学んでいる生徒から、専門高校の特色や魅力を聞くことで、**進路選択の幅**を広げます。

夏休みおしごと感動体験



本物の仕事をリアルな空間で体験することで、**働くことの意味**や**将来の夢**を考えるきっかけになります。

こどものまち CBT



子どもたちだけで市役所をはじめ、お店や会社などを運営することを通して、**社会に主体的に参加**することを体験します。



本市では、今後も学校を取り巻く様々な人々と連携を図りながら、**キャリア教育を推進**していきます！

問い合わせ 教育改革推進課 TEL 043-245-5936 / 雇用推進課 TEL 043-245-5278 / こども企画課 TEL 043-245-5673

千葉市立
千葉
高等学校

スーパーサイエンス ハイスクール先進校として

本校の「世界へ羽ばたく科学技術人材の育成プログラム (World Scientists Challenge 以下WSC)」について紹介します。

WSC1

普通科・理数科の1年次希望者

1年間を通して、韓国の蔚山(ウルサン)科学高等学校の生徒と共同課題研究に取り組みます。今年度は昨年8月に本校生徒が課題研究のテーマ検討等のために韓国を訪問し、1月には蔚山科学高等学校の生徒が本校を訪れ、成果発表会を実施します。

蔚山高校での物理実験の様子 →



WSC2

普通科・理数科の2年次希望者

昨年度WSC1に参加した生徒のうちの一部は、今年度WSC2の活動に参加しています。WSC2では、タイのチュラロンコン大学附属高等学校の生徒と個人同士で共同課題研究に取り組みます。今年度は1月に本校生徒がタイを訪れ、共同課題研究の発表を行う予定です。

↓ タイ生徒とのオンラインミーティングの様子



問い合わせ 教育改革推進課 TEL 043-245-5914

千葉市立
稲毛
高等学校
稲毛国際
中等教育学校
(前期課程)

グローバル・リーダーの 育成に向けた取組み

国際社会の一員として、自ら発信・行動できるグローバル・リーダーの育成に向けた取組みを紹介します。

Tokyo Excursion

中等3年全員

カナダのハンズワース校の留学生の受け入れを行いました。実際に日本文化を体験してもらうため、東京案内の計画を立て、日帰りの校外学習を実施しました。留学生との食事などの活動を通して、中等5年次で行われる海外語学研修までの英語学習の見通しを持つことができました。



韓国蔚山(ウルサン)文化訪問研修

高校1~3年希望者

今年度から英語を母国語としないが、英語を共通の言語としてコミュニケーションをとる国を訪問し、豊かな国際感覚を身につける目的で、韓国蔚山への研修を実施しました。韓国の文化や習慣を理解し、積極的に交流しました。



千葉氏について学びました

教育活動×都市アイデンティティ

小中学生の皆さまにもロゴマーク、キャッチコピー選定の投票にご協力いただきました。



漫画「千葉常胤公ものがたり」の活用



郷土博物館のエducーターによる出前授業

幕張西小学校6年生の取組みを紹介します。

郷土博物館と連携を図り、地域資源(千葉氏)の活用を通して千葉市の歴史に関心を持てるように工夫しています。

問い合わせ 企画課 TEL 043-245-5908 / 都市アイデンティティ推進課 TEL 043-245-5660

郷土に誇りと愛情を

「千葉開府900年」を見据え、社会科や総合的な学習の時間等を活用して、郷土教育の充実を図ります。



千葉常胤木彫像

児童のふりかえりから

千葉常胤がいなかったら、千葉の町が無かったかもしれない!

人の判断・行動で、歴史は大きく変わる。想像を広げて考えると、歴史の学習は楽しい!

昔の歴史が今につながっていると考えるとすごいと思う。開府900年が楽しみです。

あなたが、常胤だったら…
源頼朝を助ける!? 助けない!?



多様な考えに触れる学習活動